サポートシート国(５)

四年生　　『ぞうの重さを量る』　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学習した日（　　　月　　　日）

　準備するもの　教科書　国語じ典

* 教科書３４、３５ページを音読しましょう。
* 次の言葉は、全て「はかる」と読みます。それぞれの意味を調べましょう。

四年生のみなさん、おうちの方へ

サポートシートはテストではないので、まちがえた問題や、わからなかった問題は空いている部分に赤えんぴつを使って書き直しましょう。先生たちは、みなさんがどこでつまずいたかを知りたいので、消さずに直してもらえると助かります。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※今日の学習は意味調べでおしまいです。続きは明日やりましょう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| る | る | る | る |
| （例）目的を達成できるように計画を立てること。 | （例）①時間や度合いを調べること。②作戦をくわだてること。 | （例）物事の高さ、長さ、広さ、深さなどを調べること。 | （例）①はかりやますを使って、重さや容積を調べること。  ②相手の気持ちを推測すること。 |

◎　教科書３４、３５ページを音読しましょう。

◎　もう一度読み直しながら、次の問いに答えましょう。

（１）　（昔の中国）では、どのような問題が起こりましたか。

（呉という国からおくられた）大きなぞうの重さを魏の王様が知りたがった。

（２）　なぜ難しい問題だったのでしょうか。

昔の中国には、大きなぞうをのせて重さを量ることのできる道具がなかったから。

（３）　王様のむすこの曹沖が思いついた、ぞうの重さを量る方法を順じょ良く説明しましょう。

まず、はかりの代わりにぞうを大きな船に乗せて、重さでしずんだところの水のあとに印をつける。

次に、ぞうの代わりに石をつみ、印まで船が下がったら、石をつむのをやめる。

最後に、石の重さを一つ一つ量っていく。